

## 通常学級における特別支援教育の実際Ⅱ ～対話的な学びを促す指導の工夫～

企画者	青山真二（北海道教育大学）
司会者	太田千佳子（北海道教育大学附属特別支援学校）
話題提供者	上野 樹（花巻市立新堀小学校） 工藤陽介（上山市立宮川小学校）
指定討論者	青山真二（北海道教育大学）

KEY WORDS: 特別支援教育 対話的な学び ユニバーサルデザイン

### 【企画趣旨】

近年、特別支援教育の理念が普及し、特別支援学校や特別支援学級の指導はもとより、通常学級における特別支援教育に関心が寄せられている。文科省（2012）の調査によると、通常学級には配慮を要する児童生徒がおよそ 6.5% 在籍し、こうした子どもたちへの具体的な対応が求められている。従来の特殊教育では、障害にスポットを当てられ授業研究が多くなされていたが、特別支援教育に移行してからは、ユニバーサルデザインに基づく指導といった、障害をもった児童生徒のみならず、学級の子も達みんなにとって有益な指導方法の研究が多くなされるようになっていく。（佐藤；2010、桂聖；2011）

本シンポジウムでは、通常小学校における特別支援教育の在り方を臨床的視点から検討するものである。

### 【話題提供者の趣旨】

#### (1)対話的な学びを充実させるための指導の在り方(上野樹)

指導対象は、小規模校における小学 6 年生で、児童数は 16 名である。本シンポジウムでは、配慮を要する児童に対し、対話的な学びに重点を置いた国語・算数・体育の指導について紹介するものである。本指導を進めるにあたって、国語では前年度の CRT、算数では単元レディネステスト、体育では運動能力について、それぞれ高い群から A,B,C,D の 4 グループに分類し、D グループ（4 名）を最も配慮を要する児童群とした。

各教科で予想される D グループの主な困り感は以下の通りである。

- ・国語～自分の考えと友達の考えを比較できない
- ・算数～自分の考えを言語化できない
- ・体育～友達の技を見るときに視点がわからない

上記の困り感に対する指導上の工夫は、以下の 4 点である。

#### ①学習シートの工夫

板書と連動したレイアウト。3 段階ヒントカードの提示

#### ②単位時間の指導の流れの工夫

課題把握から学習の振り返りまでの学習の流れを固定

#### ③「学びあい」における工夫

グルーピング、ペアリングの活用

#### ④「振り返り」における工夫

友達の考えのよさ、既習事項との関連、友達から教わったこと、次に頑張りたいことなど、書く内容を例示する。

#### (2)国語指導における配慮を要する児童の支援(工藤陽介)

指導対象は、小規模校における小学 4 年生で、児童数は 19 名である。本シンポジウムでは、昨年指導した「ごんぎつね」の授業を紹介するものである。本指導は、ユニバーサルデザインの視点から、学級全体が集中して学べるよう

に「静と動」を意識した上で、配慮を要する児童の実態に即した個別支援の実現を目指した授業である。ここでいう配慮を要する児童とは、ADHD の診断を受け、行動上の問題を示す A 児、言語性 LD で書字に困難を示す B 児、診断名はないが、学習全般に困難を示す C 児の 3 名である。

授業を進めるに当たり、配慮を要する児童の教研式知能検査の結果や NRT、Q-U 等の結果を分析し、指導の配慮事項として活用した。

指導においては、以下の 5 点について工夫を行った。

#### ①学びを主体的にする課題づくりの工夫

子どもの初発の感想を生かし、「〇〇さんの疑問をみんなで解決しよう」という形式で授業を展開。

#### ②音読の工夫

ペア音読で、一文交代読みを行い、全員が確実に音読するとともに、一斉音読では、個別に指さし等で支援した。

#### ③板書の構造化に関する工夫

ごんと兵十の対比や教師と児童の対話を黒板で可視化。

#### ④発問の工夫

2 項対立の答えを問う発問を行うことで、全員にどちらかを選択させ、その理由を考えさせる。

#### ⑤毎時の振り返りの工夫

板書を振り返りのヒントとして活用し、スムーズな振り返りを促した。

### 【指定討論者の趣旨】

通常学級における特別支援教育は、クラス全体の指導は勿論のこと、配慮を要する子ども達にもどれだけ適切な支援ができるかにある。適切な支援をするためには、子どもたちの実態をしっかり把握することが重要であり、実態把握の方法はさまざまであるが、どのような把握の仕方が有効なのかを指導対象や指導内容ごとに検討する必要がある。

本シンポジウムにおいては、「対話的な学びを深める」という観点から、議論できればと考えている。

### （文献）

桂聖(2011)「国語授業のユニバーサルデザイン～全員が楽しく『わかる・できる』国語授業づくり」東洋館出版社  
文部科学省(2012)「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」

佐藤真二・漆澤恭子(2010)「通常学級の授業 ユニバーサルデザイン～特別でない支援教育のために」日本文化科学社

(AOYAMA Shinji, OTA Chikako, UWANO Tasturu, KUDO Yousuke)